

必要な追加的施策の考え方について

- ④ 一台あたりの走行距離が多い自動車（トラック、バス、タクシー、カーシェアリング、レンタカー等）に対して次世代自動車への転換促進を図ることが、効率的・効果的と考えられ、そのための施策の充実を図ることが必要である。
- ⑤ カーシェアリングの促進にあたっては、国民一般における認知度が十分でない現状を踏まえ、CO2削減効果に加え、都市内交通混雑の緩和にも有効であることの周知を図りつつ、都市内の導入環境の整備等の支援施策の充実を図ることが必要である。また、EV普及の観点から、カーシェアリング車両へのEVの導入も効果的であり、そのための支援施策の充実を図ることが必要である。
- ⑥ エコドライブの促進にあたっては、事故率の軽減という副次的効果を含めて、その有効性を広く国民一般に啓発するとともに、エコドライブを支援する機器の導入を促進するための施策に加えて、法人所有車（白ナンバー）、個人所有車のそれぞれを対象に継続的な実施を促すインセンティブを付与する施策の充実を図ることが必要である。
- ⑦ バイオ燃料については、国内資源の有効活用、持続可能性基準を満たす燃料の供給安定性確保、競争力のある燃料コストの確保等に資する製造プラントの建設等を促進する必要がある、これらに対する支援施策の充実を図ることが必要である。
- ⑧ 交通流対策や貨物輸送効率改善等の物流対策は、自動車分野におけるCO2削減対策として重要であり、地域WGにおいて検討中であるが、その促進施策の充実を図ることが必要である。

今後の検討内容

今後の検討内容について

- 自動車分野のケース設定に係る検討とシナリオのさらなる精査・検討
 - ・ 全体シナリオのケース設定（▲25%、▲20%、▲15%）との整合を考慮しつつ、最大導入ケース（▲25% ケース）を踏まえた▲20% ケース、▲15% ケースの設定について検討。
 - ・ 燃費改善技術の導入見通し、次世代自動車の普及見通しの精査

- 鉄道・船舶・航空分野のシナリオの検討
 - ・ 各分野の専門家へのヒアリング等を実施中であり、その結果を精査し、シナリオを検討。

- 追加的施策のさらなる検討・具体化
 - ・ 目標達成に必要な追加的な施策の具体化・精緻化

- 各WGとの調整
 - ・ 関連指標の整合性確認（電力CO2排出係数、走行量 等）
 - ・ 交通流対策、物流対策に係る追加的施策の検討（地域WG）
 - ・ EV等の次世代自動車の本格的な普及、カーシェアリング等の本格的な普及に必要なまちづくり等の地域施策の検討（地域WG）

- 施策の副次的効果の検討
 - ・ EV普及による電力利用の平準化
 - ・ 高度化ナビゲーションによる交通流の円滑化
 - ・ カーシェアリングによる公共交通機関等の利用促進、都市内交通混雑の緩和